

事後評価結果（平成23年度）

担当課：北陸地方整備局 道路部 道路計画課
担当課長名：鈴木 祥弘

事業名	一般国道470号 ^{あなみず} 穴水道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：石川県輪島市三井町洲衛 至：石川県鳳珠郡穴水町此木	延長	6.2km		

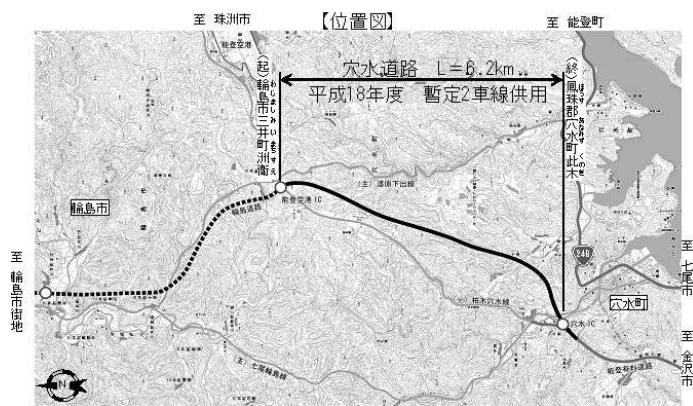
事業概要

一般国道470号穴水道路は、石川県輪島市から富山県砺波市に至る能越自動車道の一部を構成し、輪島市三井町洲衛から鳳珠郡穴水町此木までの延長6.2kmについて高規格幹線道路を整備する事業である。

事業の目的・必要性

一般国道470号穴水道路は、「高規格幹線道路網の形成」「事故や災害の危険性のある並行路線の代替性確保」「能登空港へのアクセス向上」を主な目的とした事業である。

事業概要図



事業の 効果等	事業期間	事業化年度： H9年度 都市計画決定： H11年度	用地着手： H11年度 工事着手： H12年度	供用年： (当初) - / - (暫定/完成) (実績) H18 / -	変動	倍
	事業費	計画時 (名目値) - / - 億円 (暫定/完成) (実績値) - / - 億円	実績 (名目値) 235 / - 億円 (暫定/完成) (実績値) 223 / - 億円		変動	倍
	交通量 (当該路線)	計画時 (暫定/完成) - / - 台/日	実績 (暫定/完成) 4,200 / - 台/日		変動	%
	旅行速度向上 (供用前現道 当該路線)	45.8 km/h (供用直前年次) H17年度	66.2 km/h (供用後年次) H19年度	交通事故減少 (供用前現道 供用後現道+当該路線)	53 (供用直前年次) H14~H17年度	27 件/4年 (供用後年次) H18~H21年度
費用対効果 分析結果 (当初)	B / C : -	総費用 : - 億円 (事業費 : - 億円 維持管理費 : - 億円)	総便益 : - 億円 (走行時間短縮便益 : - 億円 走行経費減少便益 : - 億円 交通事故減少便益 : - 億円)	基準年 : - 年		
費用対効果 分析結果 (事後)	B / C : 1.01	総費用 : 329 億円 (事業費 : 287 億円 維持管理費 : 42 億円)	総便益 : 331 億円 (走行時間短縮便益 : 250 億円 走行経費減少便益 : 52 億円 交通事故減少便益 : 29 億円)	基準年 : 平成23年		
事業遅延によるコスト増	費用増加額 : - 億円	便益減少額 : - 億円				
事業遅延の理由	-					
客観的評価指標に対応する事後評価項目	・ 活力 (1) 円滑なモビリティの確保 ・ 並行区間等の渋滞損失時間の削減量 = 約24.2万人時間/年 (整備前340.1万人時間/年 整備後315.9万人時間/年) ・ 能登空港～穴水IC間の所用時間が4分短縮した。					

	<p>整備前 13分 整備後 9分</p> <p>(2) 個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な観光地へのアクセス向上 ・暮らし <p>(1)安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三次医療施設である能登総合病院へのアクセス向上 ・安全 <p>(1)災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次緊急輸送道路としての位置づけあり ・能登半島地震において、災害に強い道路として復旧・支援活動に貢献 ・特殊通行規制区間の代替性を確保 ・その他 <p>(1) 他機関との連携プログラムに関する効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県の長期構想に位置づけられている道路であり、南北に長い石川県の連携向上に寄与 <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
事業による環境変化	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>特になし</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
<p>事業評価監視委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の事後評価及び改善措置、計画・調査のあり方、事業評価手法についての見直しの必要性なし。 	
<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年7月に能登空港が開港。 ・旧輪島市は平成18年2月に隣接する門前町と合併し、新輪島市に移行。 	
<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穴水道路は、安全・安心な道路交通や奥能登地域における救急搬送の向上など信頼性の高い道路として、重要な役割を果たしている。 ・今後、整備の進む他区間との相乗効果により、能越自動車道全体として奥能登地域全体の活性化に向けた効果が期待できる。 ・現時点で、「能登空港へのアクセス向上」や「並行区間における交通事故の低減」、「救急搬送における時間短縮」といった効果が確認されていることから、今後の事後評価及び当面の改善措置の必要性はない。 	
<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能越自動車道は、高規格道路網の空白地帯である能登地域に高速交通サービスを提供することを目的としており、穴水道路はその一部を担う重要な路線である。 ・一方、穴水道路の供用から輪島方面の整備について期間を要しており、道路の機能・役割を十分に発揮するためには、輪島方面への早期整備が必要である。 ・穴水道路では、中央分離帯の設置により供用から平成22年までの期間に死亡事故等の重大事故につながる正面衝突等が抑制されており、今後の同種事業においても中央分離帯の導入を検討する必要がある。 ・その他、客観的な評価指標により事業の効果を確認できており、特段の見直しの必要はない。 	
<p>特記事項</p> <p>特になし</p>	

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。